

## アマダイ通信NO. 82b

(Tile fish network letter)

2011年元旦

### 知人・友人各位

冷戦体制崩壊後の経済のグローバル化による世界のフラット化、先進国の中産階級の減少と途上国の富裕層の増大による格差の拡大が更に進んだ一年でした。中国やインドのように、貧困層をおきざりにしたままで格差の拡大が進めば、社会は混乱、治安も悪化、コストもかさみます。経済システムとしての資本主義が世界に行き渡り、中印の台頭と日米の停滞は「資本主義の不均衡発展」(レーニン「帝国主義論」)を絵に描いたようです。このまま世界は中間層の解体と富裕層と貧困層への二極化、マルクスのいう資本家と労働者の二大階級の対立が進み、その止揚としての世界革命へ向かう長い過程を辿るのでしょうか？そんな人間界の葛藤とは無関係に地球は回り続けます。地球上の主人公が人間からゴキブリに代わっても、地球にとってはどうでもいいことですが、人間居住環境としての地球を維持することは、人類にとってはまさに死活の問題。そのために今年もそれぞれが、多少とも貢献できる一年としたいものです。

### ◎暴力装置を誰がコントロールするのか？…衆議院議長公邸を初体験

かつて機動隊の壁に果敢に挑んではホゾを噛んだ●が、その暴力装置で固く守られた永田町の議長公邸にヘルメットもゲバ棒も持たず、易々と侵入。どうもご苦労さん！と守衛に声を掛け、横路衆議院議長の後援会の公邸での忘年会に初めて参加。参議院と衆議院の議長公邸が横並びであるが、戦前の貴族院の流れを汲む参議院議長公邸の方が庭も広く、建物も立派。天皇を頂点とする貴族と庶民という身分制社会の残滓だ。

大学と学生運動の先輩である横路衆議院議長は菅政権に大分歯痒い思いをしているようだが、霞が関の官僚との関係を一番問題視。政治主導とは、官僚の仕事を政治家が代わってする事ではなく、大きな方向を政治が示し、官僚を上手く使って政策を実現する事なのに、官僚機構を機能させることが出来ず、当然官僚の役割を政治家が果たしている訳でもないと厳しい指摘。

駒場以来の「悪友」で、民主党の政策作りや選挙にも関わり、「民主党政権への伏流」(ポット出版)という大著も著わし、民主党に色々ルートを持つ前田和男君も一緒に、官邸に色々提案するが、トップに届かない。農学部卒の自分より、法学部卒で官僚ともネットワークを持つ●のような人間が官邸に入り、政と官をつなぐ役回りをすべきだと悪乗り。全共闘運動でバイプレーヤーだった菅や仙谷が今はトップランナーで、前田君のいう役割を●が果たせるとも思わないが、菅首相が厚生大臣の時に一緒に大臣室に入り、菅大臣を補佐して厚生官僚を使いこなし、菅大臣の名を上げさせた、故人で東工大の仲間の宮城政務秘書官のような存在が必要なのだろう。

自衛隊を「暴力装置」だと言った仙谷官房長官はけしからんから辞めろ！と野党は言うが、戦車やミサイル、爆撃機や戦艦で武装した自衛隊は立派な「暴力装置」。暴走しないようにしっかり文民統制しなければならない。自衛隊だけではない、警察も海上保安庁も、刑務所も裁判所も、国家体制を実力で守る「暴力装置」だ。だからこそ、この「暴力装置」

を誰がコントロールするかが問題になる。自民党も野党時代の民主党と同じことを繰り返すだけで代り映えしない。民主党も足元がふらついてばかり。これでは政治家頼むに足りずということになるのが怖い！

### ◎寒冷化が怖い！

12月4日（土）、三鷹寮で「三鷹市民と東大三鷹国際留学生との集い」。17回と回を重ね、三鷹市民、留学生、寮生、OBも参加して盛会。清原三鷹市長などの挨拶の後、駒場の磯崎行男教授の「寒冷化が怖い！」という講演。毎回アップデートで、学際的な問題をわかりやすく説明してくれ、学生お構いなしの昔の先生の講義と大分違う感じがする。

CO<sub>2</sub>の排出による地球温暖化という国際機関 IPP によるキャンペーンは間違いで、南太平洋のツバルが海面上昇で無くなるというのも、人口増による地下水汲み上げに伴う地盤沈下のせいで、ベニスのサンマルコ広場の冠水も同じ類の話。シベリアの凍土地帯で家が倒れるのは基礎をしっかりと作らないので凍土が暖房の熱で融けて家が倒れるだけ、温暖期の10世紀頃のグリーンなグリーンランドでも白熊は生きていたと、一々論証。太古からの気象データからはCO<sub>2</sub>ではなく、地磁気と宇宙線の相互関係で出来る雲の量で、地球は寒暖を繰り返す。寒冷期には生物の大量死滅が起こり、中国社会の混乱と王朝交代も、寒冷期の食糧不足と重なり、日本の飢饉と社会混乱も、それと一致する。次の寒冷期は20年後くらいなので、世界は食糧不足に備えなければならない！という、衝撃的なもの。

CO<sub>2</sub>の排出による地球温暖化という指摘は間違いでも、化石資源の使用抑制は人間居住環境としての地球の持続という点では必要であり、「化石資源の使用抑制と自然エネルギーの利用促進」と読み替えるべきではないかと🐻も質問、その通りということに。

### ◎初スキー真近、雪山での事故、ようやく示談成立

年が明けて一昨年正月、奥利根、宝台樹でのスキー帰り、雪の山道の下りカーブで急ブレーキを踏んだ対抗車にぶつけられる。登る🐻も左にハンドルを切ったが避け切れず、雪の下り坂で急ブレーキを踏んだ相手の車は半回転して🐻の車に二度ぶつかり、後続車にも衝突。相手は全面的に非を認め、簡単に解決する筈でした。ところが相手の保険会社は通販のアクサ損保。🐻の車の傷の一つは古傷だと言いがかりをつけ、修理代を半額払えと、修理工場から請求書を送らせるなど、トラブルに。

修理も終わり困ることもないので、そのままにしていたら、アクサからのしつこい電話もその内沙汰止みに。諦めたのだと思っていたら、先日担当者から電話。示談が成立しない間に修理工場が潰れ、示談未成立で行き場のない修理代20万円を🐻の口座に振込むので示談書にサインしてくれと。車の傷は原状回復しているのに、金を別途受領していいのか？何かの罠か？多少考えるが、迷惑料として、有難く受け取ることに。

通販で保険料が安いからと言って、相手方に半額払えと難癖を付け、動けば費用がかかるからと電話で全て済まそうと、顔も出さないというのは酷い。それにしても可哀想なのは、修理代金も貰えずに潰れてしまった自動車修理工場だ。

### ◎歌姫サラ、母校で歌う・・・応援を宜しく！

駒場祭のライブに来て頂きありがとうございます御座いました。御陰様で最高な思い出にもなり、

宣伝にもなりました。早速「ファミ通」雑誌にも掲載されました：

<http://www.famitsu.com/news/201011/23036094.html>。

任天堂の Xenoblade というゲームのエンディングテーマを歌わせて頂いています。光田康典さんというゲーム業界では一番人気がある作曲さんの曲なので、プロモーションは全くされていませんが、話題性はあると思います。曲は自ら作った Youtube のアカウントで聞くことができます：<http://www.youtube.com/user/SarahAlainn>。

公式サイトもないため、今はブログや Twitter などネットでネットの力を利用して自らプロモーションをしています。簡単に自分の本当の夢も書いてあるリンクも送らせて頂きます：<http://sarahalainnjp.blogspot.com/>。自分にとって一番自然である言語は音楽なので、これを通じて多くの人に夢を与えられるアーティストになりたいです。昔から charity concerts、amnesty events、教会や老人ホームなどでバイオリンと歌を歌うのが好きで、将来はやはり音楽家として humanitarian 活動をしたいと思っております。

### ◎旅行作家デビュー！？…ジョルダンニュースに✪紀行文登場

ジョルダンニュースに✪の「世界漫泳紀」登場です (<http://news.jorudan.co.jp/>)。乗換案内サイトにバラエティーを持たせ、集客を多くしようとの魂胆ですが、人気が出るでしょうか？✪の世界漫泳紀が単行本になって、旅行代を回収出来ると嬉しいのですが！？取敢えず写真データもあり、ある程度身近かな地域でもある「福建紀行」から掲載しています。タイトルなどに編集部が手を加え、全7話です。

ドコモの場合、iモードのメニューリストからジョルダンニュース！への直接のアクセス方法としては、iモード起動→iMenu→メニューリスト→[1]【ニュース/メディア】の天気/ニュース/ビジネスカテゴリ→[4]ニュースカテゴリ→ジョルダンニュース！

乗換案内からは、iモード起動→iMenu→メニューリスト→[3]【生活情報】の乗換/地図/交通のカテゴリ→乗換案内/1. AD乗換案内→AD乗換案内のTOPページの[3]時刻表というメニューの下にく[速報ニュース]ニュース記事>が掲載されておりますので、そこから遷移することができます。または、同乗換案内TOPページの下の方にもジョルダンニュース！のリンク先があります。続編も掲載、広く読まれるようになると嬉しいのですが！

### キューバ紀行(下)

#### ⑦プールサイドホームレス

8日間のツアーでキューバ滞在は正味5日。最後の2日はオプションツアーだが、詳しいことは何も考えず、どうにかなると、いつものように考えていた。だが今回はオプションツアーの現地申し込みは不可で、プールサイドで2日間「リゾートする」ことに。一日目は日中プールに浸かったり、メールを打ったり、モヒートを飲みながら本を読んでリラックス。プールで泳ぐ若者に英語で、カストロやゲバラと一緒に世界革命を戦ったんだ！と自慢すると、露骨に嫌な顔をされ、話は途切れる。自由化が進み、外国人専用のホテルをキューバ人も利用できるようになったが、1人民ペソの24倍する兌換ペソを使ってホテルを利用できるような富裕層には、社会主義政権は疎ましいのだろう。

夕方男女七人で旧市街のカテドラルのある広場にワゴンタクシーで繰り出し、オープンテラスで、映画「ブエナビスタ・ソシアルクラブ」そのままの、老ミュージシャン主体の

バンドのソンやボレロなどの民族音楽のライブを聴き、テーブルに置かれた氷入りの高い冷却塔から注がれる生ビールで喉を潤しながら、ハバナ市民に混じり、ロブスターとポークのグリルを楽しむ。南国でも夜が更けるにつれて過ごしやすくなる。涼みがてら街の中心部で食事と音楽と踊りを楽しみ、海岸通りで男女が語らうなど、多くの人が集まって来る。社会主義政権の下で最低限の基礎的生活物資は配給され、教育も医療も無料で、途上国に付きものの児童労働は全く見かけないが、物乞いする老婆がハバナの所々で見られた。多世代の大家族同居も多く、年寄りも何らかの役割を務め、老後の問題はないと言われながらも、大家族制から漏れた独居老人問題があるのかも知れない。

最終日は真夜中のフライトで、夕食後のホテル出発が7時半だと言うのに正午でチェックアウト、プールサイドホームレスになる。仕方なく泳いで読み、読んでモヒートし、カクテルを楽しむ。お陰で十数年積読だった「カストロ革命を語る」(後藤政子編訳、同文館)に目を通し、キューバ革命に対する認識を新たにする。私が20歳年上のカストロより長生きするとして、カストロ後のキューバがどう変わるのか? 変わらないのか? 一国でも社会主義を維持して行けるのか? 一国での社会主義は可能なのか? 一国社会主義国キューバの存在は世界に如何なる影響を与え得るのか? 与えないのか? キューバ国民の生活はどう変わるのか? 変わらないのか? 又、訪れてみたいものである。

### ⑧琥珀色の肌の美女と

ツアー最終日正午、ホテルの部屋を引き払い、荷物をクロークに預け、海パンにタオル一枚、「カストロ革命を語る」を小脇にプールサイドへ。プールサイドホームレスはパラソルで日陰をつくり、デッキに寝そべりカストロと対話。ボーイにハンバーガーとビールを頼みランチ。食後酒にラム酒のカクテル、モヒートを楽しんでいると、琥珀色の肌をしたスタイル抜群の美女が近寄る。見事な肢体をくねらせ、**Where did you come from?**と、甘い声。**I came from Tokyo, Japan!** 上ずり加減に返すと、**Oh!**と驚いた仕草で、**Can you speak English?**と、彫りの深い整ったマスクに甘い笑みを浮かべる。とっさに、**A little**・・・と返すが、会話はここまで。

思案顔で、**My name is**・・・と言い掛け、長い黒髪をくゆらせ水に飛び込み、若鮎のようにしなやかに向こう岸に泳ぎ去る。プールサイドホームレスは若鮎の残したさざ波の消えるのを見届け、一瞬張り詰め、高揚した老体を冷ますかのようにプールに飛び込む。デッキに体を横たえると「カストロ・・・」と再び対話を始める。

キューバの男女は積極的に恋を楽しむという。男女平等が徹底し、女性も職業を持ち、それぞれ経済的に自立、保育園等の子育て支援も充実。人生で三回くらいは結婚するのが普通。歳とってもお洒落で活動的だ。昼の街角では年寄りのバンドがサルサやソンの民族音楽を奏で、夜のカフェやレストランではモヒートやダイキリを片手に老若男女が会話を楽しみ、ベテランバンドのリズムに合わせサルサを踊る。並べて貧しいが飢えの心配もなく、電力が乏しく暗いが物乞いも犯罪も少ない街で、乏しきを分かちあいながら、深まりゆく夜を楽しむ。時代が下るにつれ、肌の色に対する拘りも消えていき、狭い屋根の下に肌色の違った兄弟・姉妹が同居するのも当たり前だ。どこかの將軍様と違い私生活の質素な未婚のカストロだが、違う相手との間に7、8人の子がいるという。84歳の誕生日を迎えたカストロは語る? 人生は革命と恋だ!

## ⑨キューバか？アメリカか？

「カストロ革命を語る」は旅行中に読了出来ず、帰ってから読み終え、復習に役立つ。続いて「貧困大国アメリカⅡ」（堤未果、岩波新書）を読み比べ、キューバとアメリカの対称の妙に気付く。片や小国、片や大国。医療が無料の小国、巨大化した民間医療保険と製薬産業が暴利を貪り、医療保険料と医療費が高過ぎ、多くの無保険者や失業者は医療から疎外される大国。金さえ出せば長生き出来ると医療を商品化し、富める者を薬漬けに、貧しい者を借金漬けにする大国。教育は大学まで無料で国民の教育レベルの高い小国。学費が高騰、貧乏人の子弟は高等教育を受けられず、学資ローンが隆盛を極め、学生がローン地獄に苦しむ大国。並べて貧しいが配給制で最低限の生活は保障され、住宅事情は悪いがホームレスはいず、犯罪も少なく安心して暮らせるが、計画経済でチャンスが少ない小国。富める国だが貧富の差が激しく、治安が悪く、ホームレスも多く、刑務所に犯罪者が溢れるが市場経済でチャンスの多い大国。「テロとの戦い」というキーワードに煽られ、膨れ上がる軍事予算と戦線拡大、次々に現れる病気への恐怖から薬漬けになり医療破産が増大する大国。学位がないとワーキングプアになると思い込まされ、法外な学費を払うために学生が高利で借金する大国。ホームレスになり刑務所に入った後もさらなる借金スパイラルが追いかけて来る大国。一部を除き国民全てが借金漬けになっている「国民総借金」大国は、一部の人々にとって、より効率よく利益を生み出す「金融」大国。我が日本の目指すべきは小国か？大国か？第三の道はあるのか？

## ◎北京の水源を巡る・・・21世紀は水の世紀

黄土高原だより NO.540 (高見 邦雄 緑の地球ネットワーク事務局長)

(21世紀は水の世紀と言われ、水不足の中国から水を目当てに日本の山林を買占めているという話がまことしやかに流れる。その中国、特に北京の水不足の実態はどうなのか？北京の西300キロ、高速道路で3時間の山西省大同市で、黄土高原の緑化活動を進めるNPO法人「緑の地球ネットワーク」の高見事務局長のレポートを、多少手を加え、勝手に転載します。こんなに深く中国に分け入って、中国人ですら殆ど知らない、北京の水源地帯の実情を報告出来るのは、三鷹寮同期の高見君以外にはいないでしょう。因みに大同市民は夜間、小さな浴槽に貯まる分だけの給水しか受けられません。それで家族全員の食事、洗面、歯磨き、洗濯、トイレと全部を賄います。酷い所では生れた時の産湯と新婚初夜、死んだ時しかお湯を使えないということになります。北京空港から市内までの沿道の並木のポプラにはたっぷり水を飲ませ、青々と太らせているのに。細る水源と増える水需要、地下水の過剰汲み上げでどんどん進む地盤沈下。量だけはある揚子江の水を黄河に引き込む「南水北調」で、ことは解決するのでしょうか？以下、高見君のレポートです。)

8月15日夜、大同に到着、17日から河北省定州市に足を伸ばし、苗圃を見学。幾つもの郷が苗木作りに特化し、巨大な基地になっているが、この小旅行が、期せずして北京の水源地巡りになった。対応する写真は、<http://blog.goo.ne.jp/takamik316>をご覧ください。

応県インターチェンジで高速をおり、しばらくいくと、右手に薛家営ダム。中規模の重力式ダム。石を積み上げ河をせき止める。この地方の中小のダムはほとんど干上がっているが、このダムには水がありました。最初はそう思ったんですけど、私たちが立ったのは

放水口の上で、水際はここから 100m 近く離れています。ダムの中に貯まっている水は、使うことのできない水、です。下手から放水口をのぞくと、そこは乾いていました。次に車を止めたのは桑干河を渡る橋の手前。上流に向かって土手を歩き、橋を振り返って写真を撮りました。河底の全面にトウモロコシ、ヒマワリなどが植えられ、一般の畑と変わりありません。いや、河底で土が肥え水にも恵まれていますから、むしろ育ちがいい。そして、トウモロコシの先に橋があります。水の流れる余地がありません。付近の農民は河に水がくることを期待もしなければ、恐れてもいないのです。誤算だったのは、トウモロコシの奥にスイカが植えられていたこと。突然現れた私を怪しんだのでしょうか。若い男が近づいてきました。その場を私が離れてもずっと追いかけてきます。逃げた、と思われるのもしゃくなので、ゆっくりとズボンの前をあげ、立しょんべんをしました。

この緑化協力がスタートした翌年の 1993 年、協力の一環としてこの反対側の河岸にポプラを植えました。その当時この応県も雁北地区の一員で、協力の範囲だったのです。その時植えたポプラの根元が、大水で洗われることもあったのです。ですから、かなり短時間で流れが失われたのです。この桑干河はこれから大同市の中央部を抜けて河北省に入り、洋河、壺流河と合流して永定河と名を変えます。その永定河をせき止めているのが、北京の水瓶の官庁ダムですから、ここは北京の大事な水源の筈なのです。応県木塔を右に見て車は進み、山に分け入ります。といつてもつい最近までは岩山だったところで、近年に植林されたものもまだ小さいのです。右手に万里の長城が見えます。ここは恒山山脈で平型関、雁門関などの関所があり、歴史的に戦闘が繰り返され、「兵家必争之地」でした。日中戦争も例外ではありません。その峠から見る南斜面が絶景なのです。「耕して天に至る」といいますがまさにその通り。目の届く限り段々畑が続く光景は、日本の棚田とはスケールにおいて格段の違いがあります。

五台山に登る起点となるのが砂河です。山西省忻州市繁峙県の県城。これまでは一気にそこまで車を走らせ昼食をとるところですが、今回はちょっと手前で車を止めました。沱河をみたかったのです。この河はしばらく西に向かい、それから南に下って五台山を大きく回り込み、河北省に流れます。河北省側ではこの河に 2 つの大きなダムができています。崗南ダムと、黄壁庄ダム。どちらも太行山の麓にあり石家荘市に属します。この 2 つのダムは南水北調の最終段、石家荘ー北京の完成により北京市に水を供給することになりました。そのことからぜひとも沱河を見ておきたかったのです。といつてもここはまだ沱河の成長過程。ほんとに小さな流れにすぎません。しかも河川敷にはゴミなどが捨てられ、かなり不衛生です。上流に向かってカメラを構えると、河の背景に建設中の中高層住宅が沢山ありました。これから太行山を抜ける間に沱河は水を集めるのでしょうか？

※認定特定非営利活動法人 緑の地球ネットワーク (GEN)

TEL. 06-6576-6181 FAX. 06-6576-6182 E-mail [gentree@s4.dion.ne.jp](mailto:gentree@s4.dion.ne.jp)

URL <http://homepage3.nifty.com/gentree/>

## ◎東大三鷹クラブ第94回定例懇談会のご案内・・

### 統一教会問題など諸費者問題から見えてくる日本社会のゆがみ

今回の講師はS 4 3 年入寮の山口広弁護士です。彼も僕も 1968 年に三鷹寮に入った。共に文科 1 類だったが、「ボンジュール・マドモアゼール」の響きに魅かれてフランス語を

第2外国語とした僕と異なり、将来、中国と国交回復すれば仕事の役に立つに違いないという極めて現実的な理由から、彼は中国語を第2外国語に選んでいた。4年後には日中の国交が回復されたのであるから、彼には先見の明があったと言えるはずであった。しかし、彼の思惑も僕のロマンチズムも越えて、時代が流れていった。

入学直後の6月から東大闘争が始まり、三鷹寮は全学共闘会議の拠点となり、1969年に、僕たちは寮委員会のメンバーとなった。山口君が委員長、僕が副委員長という役回りだった。東大闘争の後退局面を支えながら、70年安保闘争に向けての隊列を整えることが、寮委員会の主な役割として予定されていた。コンパ、合ハイ、ダンパーをこなし、寮祭では100人の隊列でICUの女子寮にストームを掛けたりもしたが、僕たちは結構真面目に闘争に取り組んだ。結局、11月佐藤訪米阻止闘争に関連して僕たちは逮捕された。その後、山口君は弁護士になった。

20数年前、夜遅く、山口君の家に電話したことがある。呼び出し音が暫く鳴った後、ようやく奥さんが電話に出てきた。「統一教会からの電話かと思ったわよ」、奥さんは僕にこう言った。山口君が統一教会の靈感商法対策弁護士連絡会の事務局長をやっているため、深夜の嫌がらせ電話がよくかかってくるということであった。

彼からの履歴によれば、昨年奥さんを亡くし嫁さん募集中とのことであるが、それは置いて、その後彼は、日弁連消費者問題対策委員会委員長を経て、昨年11月内閣府消費者委員会の委員に就く。内閣府のサイト (<http://www.cao.go.jp/consumer/>)によれば、委員会では自動車リコール問題、未公開株取引被害やこんにやく入りゼリー事故などさまざまな消費者問題についての審議を行っているそうである。本年11月までに委員会を38回開いているのだから、かなり本格的な議論を進めていることと推察される。議事録を見れば、山口君もかなり熱のこもった発言をしている。

ということで、このたび、山口君を講師に迎えて、消費者問題をテーマにした懇談会を開きます。消費者問題から日本社会のゆがみに踏み込んでいくとのことで、その切り口にもご期待ください。皆様のご参集をお待ちしています。なお、彼の著作、『検証統一協会(緑風出版)』『宗教トラブル110番(民事法研究会)』も参照していただければ幸いです。

(昭和43年入寮 井上 豊 記)

日時：平成23年2月4日(金) 18時30分～21時(18時開場)

場所：学士会館本館203号室(千代田区神田錦町3-28 TEL 03-3292-5931)

会費：5000円(会場費、夕食代・ビール代、通信費など込み。別途二次会あり。)

申込先：平賀・干場 Fax 03-5689-8192 電話 03-5689-8182

(有)ティエフネットワーク Email: [tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp](mailto:tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp)

### ◎🍷年賀の当選番号は末尾二桁11です(結びに代えて)

西暦2011年に因み、封筒記載の番号の下二桁「11」の方が、当選となります。兄夫婦が我が家の山で採った茸の水煮と山菜主体の正月料理「けの汁」を送ります。田舎の味で口に合わない方もいらっしゃるかも知れませんが、🍷の故郷への想いに免じてお許し下さい。茸は煮物や酢の物、味噌汁に、けの汁は調味料で味付けしてお召し上がり下さい。秋田名物きりたんぼと鱒の鮓も美味しい季節です。今年も宜しくお願ひします！再見！

